



指導班だより

今回は、9月20日（木）に訪問した柴田町立船岡小学校6学年外国語科の授業を紹介いたします。本単元は、柴田町にある施設やない施設を知り、地域にどのような施設があったらよいかを考え表現し合う活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を養うことをねらいとしています。単元のまとめは、地域にあってほしい施設を紹介した自作のミニポスターを作成し発表することで「聞く、読む、話す、書く」の4技能を総合的に指導して、児童も大きな達成感を持つことができる工夫をしています。

単元名 I like my town. ～自分たちの町・地域～ (We can!2 Unit4より) 本時 4 / 4

事例のポイント→「聞き手と話し手どちらも楽しく学ぶ」

- ①場面の登場人物になりきり、楽しむ「なりきり英会話」
- ②ねらいとする表現に十分に慣れ親しむ
- ③相手の発表に対して英語で相づちし、思いや考えを交流

授業を支えるもの

- 「5つの提言」具現化のための教育的アプローチ～船小スタイル～
- SAKURA PROJECTの実践

<本時の指導案概要>

<ねらい>自分たちの地域の良さや、地域にあってほしい施設を理由とともに伝え合う。

<授業の実際・児童の様子>

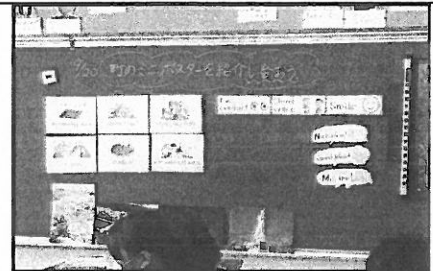
指導過程

段階	主な学習活動 (T: Teacher/S: Student)	指導上の留意点 ※評価規程(方法) ○支援	準備物等
Greetings (1分)	1 挨拶をする。 T: Let's begin the class. Hello, everyone. S: Hello, Midori sensei. T: How are you? S: I'm...	・元気よく挨拶することで、英語での活動の雰囲気をつくれるようにする。	
Warm-up (9分)	2 前時の学習を振り返る。 T: (写真教材を見せて) What do we have? S: We have ○○. T: OK, Good job. 3 本時のめあてを確認する。 柴田町にあってほしい施設を伝え合おう。	・ミニゲーム(Criss-cross)を行い、既習事項について確かめながら着席させていく。 ・柴田町にある施設やない施設について振り返らせ、英語で表現できるか確かめさせる。 ○自ら進んでチャレンジする姿を称賛し、意欲付けをする。 (提言船スタ1, 2) ・本時では、ミニポスターを使い柴田町の良さや柴田町にあってほしい施設とその理由を伝え合うことを知らせ、学習の見通しを持たせる。 (提言船スタ3)	・SAKURA PROJECT 写真教材 ・絵カード
Activity① (20分)	4 自作のミニポスターを使い、柴田町にあってほしい施設を友達と伝え合う。 Shibata is nice. We have a slope car. We don't have a concert hall. I like music. I want a concert hall. Nice idea. Good idea. Shibata is nice. We have a stadium. We don't have a big gym. I can play basketball. I want a big gym. Nice idea. Me too.	・教師がデモンストレーションし、会話の流れをつかませる。 ・聞き手の立場のとき、「Nice idea.」や「Good idea.」を使い、相手の発表に「いい考えだね」とコメントしていることに気付かせ、コミュニケーション活動に取り入れることを押さえさせる。 ・話し手の立場のとき、相手に伝わりやすい声の大きさや、アイコンタクトを取ることを意識することより分かりやすい発表になることを押さえさせる。 ・班で順番を決めて発表させる。 ○机間指導を行い、相手に分かりやすく伝えたり、相手の話にしっかり耳を傾けたりしている児童を称賛する。(提言船スタ2) ○やり取りにつまずいている児童には、発話の仕方を確かめさせることで、自信を持って活動に参加できるよう支援する。 ・班の中で分かりやすく伝えていた児童を選ばせ、代表者に発表させることで、よりよい発表の仕方を共有できるようにする。	・ミニポスター 【資料1】 ・コメントカード ・コミュニケーションポイントカード

<Warm up>

「SAKURA PROJECT」

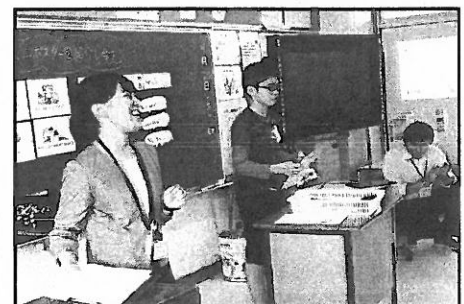
- ・写真教材を使用施設についての振り返り。
- ・前時までを思い出して進んでチャレンジする。
- ・発表した児童を称賛する。



<Activity①>

「自作ミニポスターで伝え合う」

- ・自作の絵を使って相手に分かりやすく伝える。
- ・コミュニケーションポイントカードを活用して活動する。



Activity② (10分)	5 「なりきり英会話」に取り組み、これまでに学習した表現を確かめる。	※柴田町の良さや、柴田町にあってほしい施設を理由とともに伝え合うことができたか。 (観察・振り返りカード)【コ】 ・教師がデモンストレーションを行い、会話の流れを確認させた上で取り組ませる。 ・本時ではなるべく台本を見ずに、せりふを自分の言葉として会話できるように声掛けする。 ○自然なやり取りができている児童を取り上げて称賛する。 (提言船スタ2)	・「なりきり英会話」掲示物【資料2】
Review (4分)	6 本時の活動を振り返る。	・本時の活動を通して気付いたことや、できるようになったことについて振り返らせる。(提言船スタ4)	・振り返りカード【資料3】
Greetings (1分)	7 挨拶をする。		

板書計画

9/20 柴田町にあってほしい施設を伝え合おう。

roller coaster	Ferris wheel	concert hall
big stadium	big gym	big park
stadium	gym	park
swimming pool	slope car	Sen-oh-kyo

Clear voice & Eye-contact

ミニポスター
見本

Nice idea!
Good idea!
Me, too!

「なりきり英会話」掲示物

<Activity②>

「なりきり英会話」

- ・町紹介の原稿を使って友達と練習をする。
 - ・今まで学習したことを生かして自然な会話に挑戦する。
 - ・お互いの会話を楽しむことを大切にする。
- 児童は意欲的に楽しく取り組んでいました。



【自作ミニポスターの工夫】

- ・柴田町にあってほしい施設について自作ミニポスターを使って紹介する。
- 聞く姿勢も身に付いていました。

【外国語科授業のポイント】

- ・10月26日(金)に大河原教育事務所にて「小学校外国語指導力向上研修会」を開催しました。その中で小学校の外国語科の「書く活動」を中心とした模擬授業と情報交換を行いました。

『外国語科・書く活動について』

- ・小学校では音声で十分慣れ親しんだ表現を書き写す。
- ・単元を通して少しずつ書く。
- ・目的意識を持って書く。
- ・4線を使って書く。
- ・ワークシート、ピクチャーカードはデジタル教科書や文科省HPにあるものを活用できる。

『外国語教育の概況について』

- ・「みやぎの英語教育推進計画」を参照して、校内での推進計画や小中学校の連携について進めていくことについて話題に上がりました。

